

2023 年度事業計画

1. 家庭と大学との連携を図る事業（予算額：2,255,000 円）（継続）

- (1) 後援会総会実施
- (2) 後援会会報誌の送付
- (3) Web サイトの運用

2. 教学条件の整備充実、教育事業への支援（予算額：2,100,000 円）（継続）

- (1) 図書館への（学生用）図書の寄贈
- (2) 海外派遣学生への補助（航空券代とサチャジ料）
- (3) 日本英語模擬国連参加費補助
- (4) 学長表彰に伴う報奨制度

3. 課外活動に対する支援（予算額：4,000,000 円）（継続）

- (1) 全国レベルに達したクラブへのレベル維持を目的とした支援
※ 学生会所属団体として優秀な成績を挙げた団体に対する補助
- (2) 学外施設使用料等への補助
※ 学生会所属団体および大学登録サークル・同好会の活動に不可欠な施設使用料（公演、演奏会、展示会、発表会、競技会等のための施設の使用料）の補助
- (3) 大学祭への補助
- (4) 学生会所属団体および大学登録サークル・同好会の実施する合宿に対する補助
- (5) 学生のリーダー養成講座に対する補助
- (6) 新入生歓迎イベント補助
- (7) その他課外活動への特別補助
- (8) 課外活動公式試合時の指導者出張費に対する補助
- (9) 自主公演等開催費用への補助

4. 就職活動・キャリア教育への支援（予算額：4,000,000 円）

- (1) 就職試験対策受講料学生負担分の補助
- (2) 資格取得者（学長奨励賞対象者）への報奨金の補助
- (3) その他就職活動支援事業、キャリア教育事業に関する補助

5. 国際交流活動への支援（予算額：2,000,000 円）（継続）

- (1) 日本人学生と外国人留学生在が交流を深める行事等への補助
- (2) 地域と外国人留学生在が交流を深める事業、行事への補助
- (3) 国際交流活動に対する補助（ゼミ・フィールドワークの活動は対象外）
- (4) 国際理解語学学習セミナー

6. 福利厚生に関する援助（予算額：22,000,000 円）（継続）

- (1) 学資支弁者の死亡による修学継続困難学生への援助
学費等の半期分の全額を補助。
※なお、大学等における修学支援のための法律に基づく授業料減免対象者については、支援区分に応じて減免された残額分を補助する。
- (2) 奨学金制度
- (3) 学研災通学特約の加入補助
- (4) 後援会ゼミ援助費

7. 卒業記念事業補助（予算額：5,500,000 円）（継続）

- (1) 卒業記念品の贈呈

2022年3月卒業生対象の卒業アルバム経費

2023年9月前期卒業生に対してメールでオーダーできる印鑑を記念品の経費

※2023年3月卒業生対象の記念品（卒業アルバムブック作成）の経費は、2023年度予算で執行。
（卒業アルバムが完成し、郵送する時期が2023年5月となるため。）

8. 弔慰金（予算額：160,000円）（継続）

9. その他補助（予算額：11,400,000円）（継続）

（1）社会貢献活動に対する補助

（2）学生会主催イベント費用の補助

学生主体で、新型コロナウイルスのため弱くなった学生同士のつながりを強めるためのイベント開催に対する補助。

（3）学部学生主催イベント費用の補助

学生主体で、全学部生を対象とした学生同士のつながりを強めるためのイベント開催に対する補助。

10. 特別費（予算額：24,000,000円）（継続）

（1）全国大会出場等経費の補助

※ 交通費・人件費を除く諸経費の補助

（2）世界大会出場等経費の補助

※ 交通費・人件費を除く諸経費の補助

（3）全国大会等応援に伴う費用の補助

（4）全国大会出場選手等の食費補助

（5）応援バス等の費用補助

（6）文化会クラブ全国大会出場に伴う参加費、交通費、宿泊費の補助

（7）食堂利用状況可視化サービスを学内で常設表示するためのデジタルサイネージの購入費用（新規）

（8）100円ランチの実施（新規）

（9）令和5(2023)年度阪南大学卒業式（コロナ禍での約束）の開催費用（新規）

（10）南キャンパスクロージングイベント開催費用（新規）

（11）フィットネスルームのランニングマシン購入費用（新規）

11. 特別会計への組み入れ金（予算額：3,000,000円）（継続）

周年事業への積立て

以上

2023年度 阪南大学後援会からの補助費の内容と支給基準（案）

1. 家庭と大学との連携を図る事業

2. 教学条件の整備充実、教育事業への支援

(1) 図書館への（学生用）図書の寄贈

対 象 図書館により選定された就職活動、資格取得等参考書・問題集、視聴覚資料、学生選書ツアーによる選書本等の購入費用（電子書籍含む）

基 準 150万円を上限として補助する。

(2) 海外派遣学生に対する補助

対 象 大学が海外に派遣した学生（阪南大学が協定を結ぶ外国の大学または、企業へ派遣する学生等）

基 準 航空券代とサーチャージ料の合計額の30%相当の金額を補助する。

上限 70,000円/人 ただし、本学を除く他団体からの補助がある場合は対象外とする。

(3) 日本英語模擬国連への参加費補助

対 象 模擬国連参加学生

基 準 模擬国連の参加費を補助する。

（ただし他団体からの補助がある場合は対象外とする。） 上限 25,000円/人まで

(4) 学長表彰に伴う報奨制度

対 象 学長が表彰する学生

基 準 学長が表彰する報奨金の半額を補助する。

3. 課外活動に対する支援

(1) 全国レベルに達したクラブへのレベル維持を目的とした支援

対 象 学生会所属団体として前年度優秀な成績を挙げた団体

基 準 ①前年度、全国大会出場の場合は今年度の活動維持費として50万円を上限として補助する。

②前年度、公式戦4位（1部リーグ）以上の成績を挙げた場合は、今年度の活動維持費として25万円を上限として補助する。

③個人競技については①②の半額を上限とし、所属団体に今年度の活動維持費として補助する。

ただし、活動維持費の使途は大学・学生会から援助されない活動に不可欠な費用とする（強化合宿・遠征費および用具代等）。

(2) 学外施設使用料等への補助

対 象 学生会所属団体および大学登録サークル・同好会の活動に不可欠な施設の使用料等及び公演、演奏会、展示会、発表会、競技会等のための施設の使用料

基 準 1回で3万円を超える施設使用料の80%補助。ただし1回につき上限10万円とし、年4回までとする。

(3) 大学祭への補助

対 象 大学祭の活動費

基 準 50万円を上限として補助する。※講演料やイベント開催に必要な経費の補助

(4) 学生会所属団体および大学登録サークル・同好会の実施する合宿に対する補助

対 象 学生会所属団体および大学登録サークル・同好会として合宿を実施した団体

基 準 合宿参加期間中の補助として1人あたり3,000円を補助する。

ただし、年2回までとする。

(5) 学生のリーダー養成講座に対する補助

対 象 学生会が行う学生リーダー養成のための研修開催への補助

基 準 100万円を上限として補助する。

- (6) 新入生歓迎イベント補助
対 象 学生会が行う新入生イベントへの補助
基 準 100万円を上限として補助する。※講演料やイベント開催に必要な経費の補助
- (7) その他課外活動への特別補助
対 象 課外活動関係のうち、上記(1)から(4)に該当しないもの
(大学の名声を高める社会的善行、功労等のあった団体、あるいは個人)
※ 対象については、運営委員会において適宜検討する。
- (8) 課外活動公式試合時の指導者出張費に対する補助
対 象 強化クラブ以外の試合同行のための旅費交通費
基 準 公式試合同行の旅費交通費のうち、大学支給の年間6万円を超えた費用について、6万円を上限として支給する。
- (9) 自主公演等開催費用への補助
対 象 学生会所属団体および大学登録サークル・同好会が公演、演奏会、展示会、発表会、競技会等を開催する際にかかる費用の半額を補助する。(大道具・照明・音響・ビデオ撮影等)
基 準 1回につき上限は30万円までとし、年2回までとする。

4. 就職活動・キャリア教育への支援

- (1) 就職活動試験対策講座受講料学生負担分の補助
対 象 本学指定の就職活動試験対策講座を受講した学生
基 準 学生負担受講料の全額
- (2) 資格取得者(学長奨励賞対象者)への報奨金の補助
対 象 学長奨励賞の対象資格を取得した学生
基 準 学長が表彰する報奨金の半額を補助する。但し、補助総額の上限を200万円とする。
- (3) その他就職活動支援事業、キャリア教育事業に関する補助
対 象 本学において実施されている就職活動支援事業、キャリア教育事業に係わる経費
※対象については、運営委員会において適宜検討する。

5. 国際交流活動への支援

- (1) 日本人学生と外国人留学生が交流を深める行事への補助
対 象 本学の日本人学生と外国人留学生が共に参加し、交流を深める行事
基 準 行事に係わる交通費、保険代、その他経費補助する。(原則として飲食代は除く)
- (2) 地域と外国人留学生が交流を深める事業、行事への補助
対 象 本学外国人留学生が地域と交流を深めるために参加する行事
基 準 行事に係わる経費を補助する。(飲食代は除く)
1行事につき上限を10万円とする。
- (3) 国際交流活動に対する補助(ゼミ・フィールドワークの活動は対象外)
対 象 国際交流活動に参加した者
基 準 1万円/1人
- (4) 国際理解語学学習セミナー実施委託費用に対する補助
対 象 学生支援課が開講するセミナー
基 準 国際理解語学学習セミナー実施に伴う委託に必要な経費
※国際交流委員会が承認したセミナーとする。

6. 福利厚生に関する援助

- (1) 学費支弁者の死亡による修学継続困難学生への援助
対 象 学費支弁者の死亡による修学継続が困難な学生
基 準 学費等の半期分の全額を補助する。
なお、大学等における修学支援のための法律に基づく授業料減免対象者については、支援区分に応じた減免後の学費等を補助する。

(2) 奨学金制度

- ①学部成績優秀者奨学金 年額 400,000 円
2~4 年次生対象 各学年各学部 1 名 合計 15 名 (単年度申請)
- ②クラブ奨学金 年額 200,000 円
全学年対象 合計 15 名 (単年度申請)

(3) 学研災通学特約の加入

- 対象：学部学生
- 基準：大学で全員加入済の学研災に加えて、通学中の移動中の事故を補償する特約分を補助する。

(4) 後援会ゼミ援助費

- 対象：学部学生 (ゼミ科目の受講者に対して)
- 基準：ゼミ授業の懇親を深めるために開催される、懇親会やゼミコンパの開催費用等について、年間 1 名あたり 2,000 円の補助を行う。

7. 卒業記念事業補助

(1) 卒業記念品の贈呈

- 対象 3 月卒業生、9 月卒業生
- 基準 卒業生には 1 人あたり 5,000 円を上限として記念品を贈呈する。
2023 年 9 月卒業生には、記念品を贈呈し、2024 年 3 月卒業生には、卒業アルバムを贈呈する。

8. 弔慰金

- 対象 学生本人及び父母あるいは学費支弁者の死亡に対しての弔慰金
- 基準 学生本人 2 万円
父母あるいは学費支弁者 2 万円

9. その他補助

(1) 社会貢献活動に対する補助

- 対象 ※大学が認めた社会貢献活動を行った学生
- 基準 1 件 1 名につき 5,000 円を限度して必要経費を補助する。
※学生委員会が承認した社会活動とする。

(2) 学生会主催イベント費用の補助

- 対象 学生同士のつながりを深めるためのイベント開催費用
- 基準 650 万円を上限として補助する。

(3) 学部学生主催イベント費用の補助

- 対象 学部学生主体で運営するイベント開催費用として実施計画が提出されたもの。
- 基準 50 万円を上限として補助する。

10. 特別費(全国大会及び世界大会出場の援助資格については注 1・注 2 を参照)

(1) 全国大会出場等経費の補助

- 対象 全国規模の競技大会等へ出場する選手 (補欠選手を含む)
- 基準 大会出場に必要な諸経費 (交通費・人件費を除く) につき、1 大会 1 人あたり 5 万円を上限として補助する。
※ただし、体育会クラブで所属リーグの下部リーグで全国大会に出場した場合及び文化会クラブで関西レベルの選考会が無い場合は、1 人あたり 2 万 5 千円とする。
※(注 1)に記載の援助資格及び援助金額を参照。
※同一年度内で申請できるのは 2 回を限度とする。(強化クラブは除く)
※最大 1,650,000 円を上限とする。
※本学および他団体から諸経費の補助がある場合は対象外とする。

(2) 世界大会出場等経費への補助

対 象 世界規模の競技大会等へ出場する選手（補欠選手を含む）

※(注2)に記載の援助資格を参照。

基 準 ①大会出場に必要な諸経費（交通費・人件費を除く）につき、1大会1人あたり10万円を上限として補助する。

②上記①に加えて、大学から会場所在地までの往復運賃の半額を補助する。

ただし、同一年度内で申請できるのは2回を限度とする。（強化クラブは除く）

なお、他団体から補助がある場合は対象外とする。

(3) 全国大会等応援に伴う費用の補助

対 象 全国規模の競技大会等へ出場する学生会所属の団体及び個人

基 準 応援に必要な消耗品（スティックバルーン、メガホン等）代を補助する。

(4) 全国大会、世界大会出場選手等の食費補助

対 象 全国・世界規模の競技大会等へ出場する学生会所属の団体及び個人

基 準 大学、学生会からの補助に加えて支出が必要な場合は1人1日2,000円を限度として補助する。

(5) 応援バス等の費用補助

対 象 全国規模の競技大会等へ出場する学生会所属の団体及び個人

基 準 学生会補助による応援バスの同等費用を補助する。

※応援バス等の特別費予算執行については、全国大会に出場が決定した時点で後援会長の承認のもとに柔軟に予算執行することとする。

(6) 文化会クラブ全国大会出場に伴う参加費、交通費、宿泊費の補助

対 象 コンテスト及び発表を目的とした全国規模の大会等へ出場する学生会所属の団体及び個人

基 準 大会出場の際に必要な参加費、交通費、宿泊費について補助する。

※同一年度内で申請できるのは2回を限度とする。（強化クラブは除く）

※本学および他団体から諸経費の補助がある場合は対象外とする。

(注1) 全国大会出場援助資格について、以下のとおりとする。

①強化クラブは、予選等の選考会が無い場合でも全国大会と称する大会に出場する場合は、援助資格対象とする。

②強化クラブ以外の体育会に所属するクラブは、関西レベルである程度勝ち抜いたうえで援助資格の対象となることを前提条件とする。

例) 関西大会2回戦敗退でも全国大会に出場できるなどの場合は援助の対象としない。

その他の場合は以下の基準とする。

1) 予選等がない場合は前年度3位以内

2) 関西大会等ベスト4以上 → 従来援助基準の全額

3) 関西大会等ベスト5～16 → 従来援助基準の半額

③強化クラブ以外の文化会に所属するクラブについては、関西レベルで選考された結果、全国大会に出場する場合は、援助資格の対象とする。

その他の場合は、以下の基準とする。

1) 関西レベルの選考会でベスト4以上 → 従来援助基準の全額

2) 関西レベルの選考会が無い場合 → 従来援助基準の半額

(注2) 世界大会出場援助資格について、以下のとおりとする。

・各クラブ所属の連盟等から該当の世界大会出場の招聘状がある場合のみ援助資格対象とする。

(7) 食堂利用状況可視化サービスを学内で常設表示するためのデジタルサイネージの購入費用

対 象 食堂の混雑状況が分かるように常設するデジタルサイネージの購入費用

基 準 100万円を上限に補助する。

(8) 100円ランチの実施

対 象 学生会が（火水木曜）実施している100円ランチ事業を拡大するために、月曜日と金曜日にも実施するための費用

- 基準 授業期間中の月曜日と金曜日に、本キャンパス 50 食×2 食堂 南キャンパス 10 食分を出食する。1 食当たり 400 円の補助を行う。総費用 264 万円
- (9) 令和 5(2023)年度阪南大学卒業式（コロナ禍での約束）の開催費用
対象 2023 年度卒業式を全学部合同で大阪城ホールにて開催するための費用
基準 卒業式開催に伴う会場費・舞台照明費・講演料等 1,250 万円の補助を行う。
- (10) 南キャンパスクロージングイベント開催費用(100 万円)（新規）
1997 年より国際コミュニケーション学部・国際観光学部で使用してきた南キャンパスが、2023 年度をもって利用終了となることに伴い、クロージングイベントを開催するための費用 100 万円を補助する。
- (11) フィットネスルームのランニングマシン購入費用 (2,212,900 円)（新規）
ランニングマシンは、2004 年に後援会からの寄贈でフィットネスルームに設置されているが、老朽化により故障し使用できない状況のため新規で 4 台を購入する。

11. 特別会計への組み入れ金

周年事業への積立金として、300 万円を特別会計口座に組み入れる。

以上